

## ご挨拶

平素は格別なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今なお続く加工食品などの値上げや、円安基調による資源エネルギーや輸入商品価格の高止まりなど、景気下振れの懸念がまだあるものの、社会活動は比較的順調に推移し、わが国経済は回復傾向にあると思われまます。

当社は本日、2025年3月期、第2四半期決算を発表いたしました。連結業績（累計）は、売上高は2,899百万円（前年同四半期比▲11.2%）、営業利益は▲63百万円、経常利益▲68百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は▲124百万円となりました。繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を46百万円計上したこともあり、前年同四半期比減収減益という大変厳しい環境が今なお続いております。

今期に入り、当社は「稼ぐ力の醸成」を目標に掲げ、仕入れ方法の見直しや原価管理の徹底、製造部門においては継続的にシフト制や多能工化の推進に加え、一部主力商品の内製化などを実施してまいりました。また営業面においては、主力のメニュー商品の販売強化に加え、高齢者施設などの法人施設様向け事業食や栄養コントロール弁当の積極推進など、次の事業の柱の構築にも勤しんでおります。しかし前述のように生活必需品やエネルギー価格の高止まりと、実質賃金の伸び悩みなどの影響のため、消費者の生活防衛意識は依然続いていると思われ、その影響もあり売上高が対前年中間増減率で▲11.2%落ち込むなど、売上高の減少が稼ぐ力の成果を上回り、大変厳しい決算となりました。このような環境下ではありますが、引き続き食材や包材などの仕入れコストの徹底管理や適正人員配置の再検証、拠点間物流の合理化を行い、また主力メニュー商品の販売については、一定期間ご注文がないお客様への確実な声掛けや、魅力あるメニュー商品の投入を引き続き積極的に行ってまいります。また当社の最大の商戦である12月商戦も、本年はこれまでより約1か月早い9月から先行予約の受付を開始し、あわせてこれまでにない新たな魅力度の高い商品を投入することで、お客様のニーズに応えてまいります。

マーケティング戦略においても、来期を見据えて、今期第4四半期には新たな手法のプラットフォームが構築される予定です。日中は不在のご家庭などにも、販売の促進が可能となり、当社サービスのご利用顧客数の増加を目指してまいります。

以上の施策を全力を挙げて鋭意推進してまいります。これまで実施してまいりました1株につき5円の年間配当金の内、1株につき2.5円の間配当金につきましては、業績改善途上の中、中止させていただくこと、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。当社として取りうる限りの新たな施策を実施し、業績回復のため、全役職員一丸となって業務に邁進してまいりますので、一層のご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社ショクブン  
代表取締役社長

吉田 朋春